

## ☆ 保護者への伝え方 演習シート

皆さんは、保護者に、学校での子どもの様子をどのように伝えているでしょうか。どのような伝え方が、保護者の気持ちに寄り添った伝え方になるでしょうか。演習を通して考えてみましょう。



○パターン1～3を保護者の立場で聞いてみてください。どのようなことを感じますか？

### パターン1

Aくんは、休み時間に友達とのやりとりで、手を出してしまうことがあります。

### パターン2

最近、Aくんは、とても落ち着いて授業に参加することができるようになってきていますよ。毎日がんばっていますね。

ただ、休み時間に友達とのやりとりで、手を出してしまうことがあります。

### パターン3

最近、Aくんは、とても落ち着いて授業に参加することができるようになってきていますよ。毎日がんばっていますね。

ただ、休み時間に友達とのやりとりで、手を出してしまうことがあります。

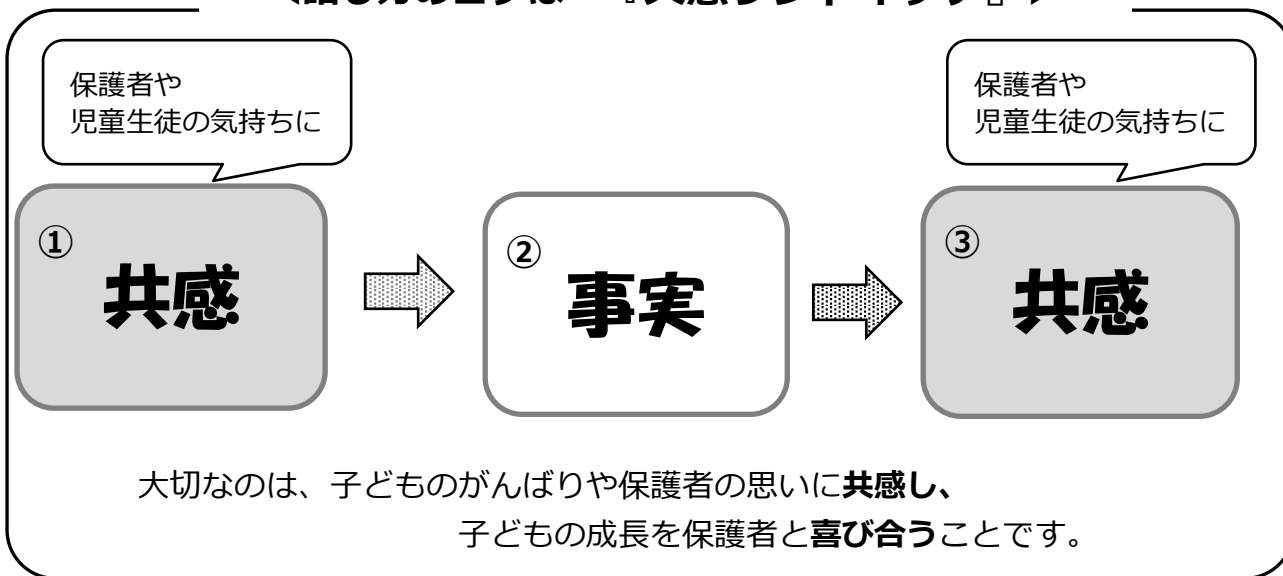
話を聞いてみると、納得がいけないことがあるなど原因がいくつかあるようです。手を出すことはいけないことですが、そうしてしまった本人の気持ちもよく分かります。今後、どうしていくべきかをAくんやご家族と一緒に考えていきたいと思います。

○感じた違いを話し合ってみましょう。

気づけば、子どものできていないことばかりを伝えてしまい、保護者とトラブルになったことはありませんか？  
保護者とのよりよい話し合い、関係づくりのためには『共感サンドイッチ』という話し方のコツがあります。



<話し方のコツは 『共感サンドイッチ』 >



- ① まずは、子どものがんばっている姿、思いなどを伝え、保護者の日々の努力や思いに共感します。
- ② 次に、伝えたい出来事や子どもの課題となっている事実を伝えます。
- ③ 最後に、子どもの行動の要因を保護者と一緒に十分に整理、分析し、子どもの気持ちを理解しながら、子どもと交わした約束や教師の支援などを具体的に伝え、保護者の思いに寄り添いながら教師の思いを伝えます。



事実のみを伝えるのではなく、共感しながら話を始め、事実を伝え、最後に共感して話を終えることで、保護者は話の内容を受け入れやすくなり、教師が子どもの課題に向き合ってくれているという印象をもつことができます。  
子どもを中心にして、保護者と教師が一緒になって考えていくことのできる教育相談を目指しましょう。

**保護者は、教師の子どもに向き合う姿勢や努力を求めています！**